



優しい言葉

紫陽花の花が咲く頃となりました。先日の運動会では、保護者・地域・来賓の方々にご来校いただき、子供たちを励ましていただきました。また、運営にご協力いただいたPTAの役員の皆様ありがとうございました。子供たち一人一人が、自分のもてる力を精一杯発揮して演技や競技を行うことができましたのも、お力添えいただいた皆様のおかげと感謝いたします。運動会で得た達成感や充実感を糧に、子供たちがさらに成長してくれることを期待しています。

6月は、水泳の学習も始まります。運動面、学習面でさらに落ち着いて取り組ませて参ります。さて、金子みすゞさんの「こだまでしょうか」という詩を紹介いたします。

(著作権につき、詩の部分を省略しています。)

相手が友達でも、家族でも自分が笑顔で優しい言い方で言葉をかけると、相手からも笑顔で優しい言葉が返ってきます。しかし、自分が相手を悲しませるような冷たい言葉をかけると、やはり同じような言葉が返ってくるが多いです。

まさに言葉は、「こだま」であり、心の鏡でもあります。優しい言葉を使うと、人は優しくなれると感じた経験は、誰にでもあることと思います。

自分が発した言葉が相手に届くと相手はどのように感じるのか、喜ぶのか、それとも嫌な思いをさせているのか。また、たくさんの人が笑い、喜んだとしても、それを聞いて一人でも悲しむ人がいるのならば、それは本当の優しい、すてきな言葉とは言えないのではないのでしょうか。誰もが優しくなれる言葉、それが本当の優しい言葉だと思います。

言葉で伝えるということは、決して簡単なことではありません。しかし、それをできるだけ丁寧にわかりやすく、そして、すてきな言葉で伝えよう、伝えたいという思いが相手への「思いやり」になっていくのだと思います。

機会あるごとに、子供たちに言葉遣いについて考えさせたり、指導を繰り返したりしております。ご家庭でも、日頃遣う言葉についてお子様と話す機会をもっていただき、東湊江小学校が優しい、すてきな言葉であふれる学校となるように、ご家庭と協力して取り組んでいきたいと思っています。

運動会を終えて

健康体力向上部 矢下田 雄貴

先日の運動会にご参観いただきありがとうございました。「運動会」としての開催は約2年ぶりとなりましたが、いかがでしたでしょうか。

団体競技やリレーでは、勝敗を意識して、一生懸命に競技に挑む子供たちの姿がとても輝いていました。また、悔しい思いをしても互いの健闘を認め合う姿が素晴らしかったです。表現では、見てくださる方々に、より完成度の高い演技を見せたいという意識をもって練習に取り組む姿が見られました。本番でも、「がんばるぞ!」という気持ちが、鋭い眼差しから伝わってきました。また、2年ぶりに復活した応援団は、「運動会を盛り上げたい。」という強い気持ちをもった有志の6年生が活躍しました。休み時間も集まって、応援の練習を必死に頑張りました。本番では、声が枯れるくらい一生懸命に応援する姿に感動しました。

児童一人一人が、目標に向かって努力した運動会。その努力の結晶をお見せすることができたと思います。また来年、さらに大きく成長した姿をお見せすることができるよう、教員一同、精一杯努めてまいります。

最後になりますが、運動会へのご理解、ご協力をいただきましてありがとうございました。

朝の分散登校 終了のお知らせ

生活指導部

新型コロナウイルス感染対策のため、本校は朝の分散登校を実施してきました。今後の登校について、東京都で発令されたリバウンド警戒期間の終了に伴い、分散登校を終了とさせていただきます。8時5分から8時20分の間に登校してください。指定された時間に登校できるようご家庭で協力していただきありがとうございました。

水泳について

健康体力向上部 大門 昭成

6月13日(月)～9月9日(金)の期間で水泳学習が行われます。昨年度は7月までしか実施できなかった水泳学習ですが、今年度は、感染症予防対策を講じながら学年で実施していきます。各学年の水泳学習の時間は、学年便りや日々の連絡帳でご確認ください。尚、2年間ほとんど水泳学習ができていなかった状況を鑑み、今年度から検定は行いません。少しでも多く、児童が水に親しむ機会をつくっていくためですので、ご理解いただければ幸いです。

水泳学習がある日は、専用のプールカード(黄色のもの)に健康状態を記入し、提出をお願いします。子供たちが安全に楽しく活動を行えるように指導していきます。ご理解ご協力、よろしく願いいたします。

ふれあい月間（いじめ防止強化月間）

生活指導部 高木 亜沙子

6月は東京都教育委員会が定めた『ふれあい月間（いじめ防止強化月間）』です。本校でも、いじめ根絶の指導強化月間とし、児童へのアンケートを実施し、必要な児童への面談や、アンケートに対応した組織的な指導を行っています。

また、未然防止のため、道徳授業、学級活動など、学校の教育活動のあらゆる場面を通して、いじめを生まないあたたかな心あふれる学校づくりのための指導をしております。

ご家庭の会話の中にも「やさしい心遣い」について話題にさせていただければと思います。

物を大切に作る心

生活指導部 佐藤 恵美子

運動会練習が始まり、児童の教室移動が増えてきたため、落とし物も多くなりました。水筒の落とし物、上着の落とし物、毎日いろいろな物が落とし物ボックスに届きます。名前が書いてある物は全体の約3割で、ほとんどの物に名前が書いてありません。

そこで、落とし物がなくなるよう、5月16日の全校朝会で、物を大切に作る心についての話をしました。資源には限りがあること、そして自分たちの持ち物は、家の人がんばって働いた大切なお金で購入していることを伝えました。朝会で話をした後は、少し落とし物が減ってきたように感じます。物を落とさないよう気を付けて欲しいですが、もし落としてしまっても、本人に届くよう記名をお願いいたします。これからも、学校全体で物を大切にしていけるよう、みんなで声をかけ合っていきたいと思っています。